公益財団法人 結核予防会(JATA)
http://www.jatahq.org/

結核の常識 2015

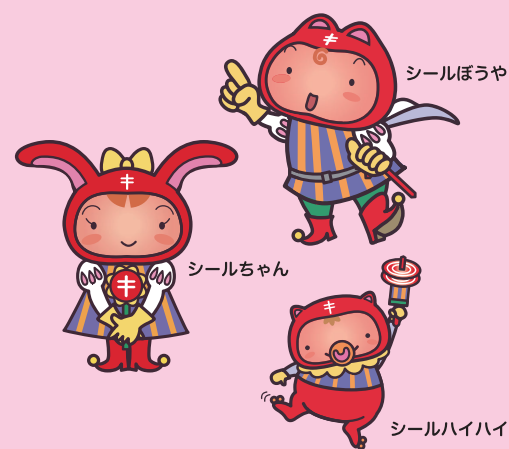
長引く咳は”風邪”…”結核”かも!?

（平成26年度結核予防週間標語）

9/24～9/30
結核予防週間

結核についてもっと知ろう!

結核をなくすには何よりも皆さんに結核について正しく知ってもらうことが大切。あなたと身近な人を結核から守るためこのパンフレットをご活用ください。



長引く咳は”風邪”…”結核”かも!?

（平成26年度結核予防週間標語）

1. 結核ってどんな病気？
2. 結核はどう感染するの？
3. 結核の予防
4. 結核の治療
5. 日本と世界の結核
6. 結核予防会の活動

9/24 ～ 9/30

結核予防週間

①結核ってどんな病気？

過去の病気と思ったらダメ！
結核は、「現代」の病気だよ。
決して他人事ではないんだ。

１日で６人が亡くなる日本の重大な感染症です

明治時代から昭和20年代までの永い間、「国民病」「亡国病」と恐れられた結核。50年前までは、年間死亡者数も10数万人に及び死亡原因の第１位でした。医療や生活水準の向上により、薬を飲めば完治できる時代になりましたが、過去の病気と思っていたら大間違いです。今でも１日に56人の新しい患者が発生し、６人が命を落としている日本の重大な感染症なのです。

国内の結核（2013年）

結核新登録患者数 （新たに結核と診断され登録された患者）	20,495人	罹患率	16.1
結核死亡数	2,087人	死亡率	1.7

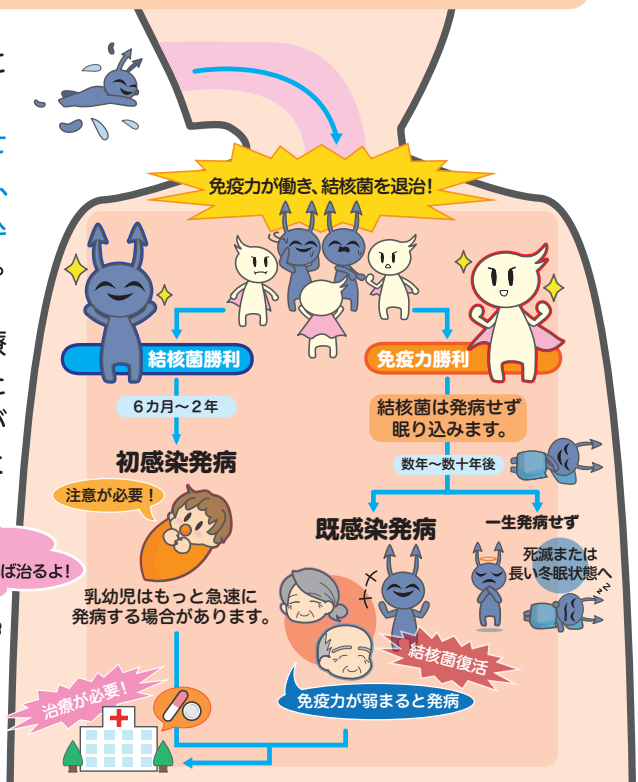
※率はすべて人口10万人対

②結核はどう感染するの？

せきやくしゃみで「空気感染」する病気です

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気です。
タンに結核菌がいる患者がせきをすると空気中に飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことによってうつります。
これを「空気感染」といいます。
「結核かな？」と思ったら、医療機関を受診しましょう。また人にうつさない為に、せきが出る時はマスクをつけることをこころがけましょう。

写真：電子顕微鏡で見た結核菌の図
1～4㎛（ミクロン）



③結核の予防

結核は、注意を正しく知り行動していればそれほど怖がる必要はありません。2週間以上せきやタンが続くようでしたら、医療機関で受診しましょう。早期発見は本人の重症化を防ぐためだけではなく、大切な家族や職場等への感染の拡大を防ぐためにも重要です。
抵抗力の弱い赤ちゃんは、結核に感染すると重症になりやすく、生命を危うくすることすらあります。予防するためには、BCG接種が有効です。市町村からの案内に従って、遅くとも1歳までに接種を受けてください（ちなみに国が示している標準的な接種期間は生後5カ月～8カ月の期間です）。

特にお年寄りは倦怠感が続いたり、急にやせ衰えてきたりしたら、結核かもしれません。心当たりのあるときは早めに医療機関で受診しましょう。

簡単な予防法

- 適度に運動する
- 睡眠時間を十分にとる
- 好き嫌いをせずバランスのとれた食事をする
- タバコを吸わない

④結核の治療

もし結核に感染したら？

結核と診断されても、6カ月間毎日きちんと薬を飲めば治ります。しかし症状が消えたからといって、治療の途中で服薬を止めてしまえば治りません。それどころか、菌は抵抗力をつけ、薬が全く効かない多剤耐性菌になることもあります。治療を確実にするために、医療従事者が患者に薬を処方するだけでなく、患者が服薬するところを目の前で確認し、支援する方式の推進が強化されています。これを直接服薬確認療法、DOTS（ドッツ：Directly Observed Treatment, Short-course）といいます。心配な方は近くの保健所にご相談ください。

今でも日本は、
世界の中では中まん延国
問題はより複雑になっているよ。

⑤日本と世界の結核

アジアと世界の結核を
なくさなければ
日本の結核はなくならない！

日本では

結核患者の高齢化がますます進む！

新たに結核と診断される方のうち60歳以上の方が70%以上占めています。 人口の高齢化よりもっと早く、結核患者の高齢化が進んでいます。

若年層では外国生まれの割合が増加！

一方で20～30代の患者さんのうち、外国生まれの割合がどんどん増加しています。20代では40%以上を占めています。国際化の進展により、この傾向もさらに進むと予想されます。

受診の遅れ・患者発見の遅れによる集団感染の発生！

残念ながら結核は「過去の病気」との認識が、一般の方々のみならず、医療関係者にもあり、それによる受診・診断の遅れから、集団感染がたびたび発生しています。

地域の中で大きな格差が！

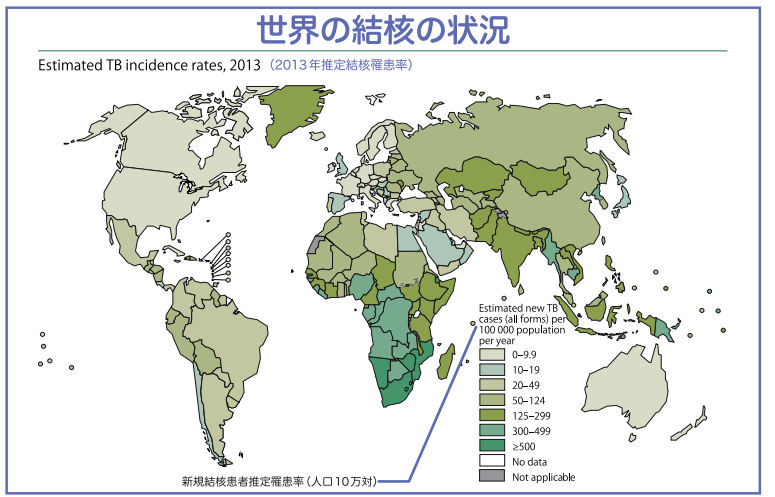
特に人口が多く外国人が集まる大都市部は、地方と比較すると結核患者数が多い状況です。日本の中でも大きな格差が生まれていて、各地域の状況に応じた対策が必要になっています。

グローバル化が進む中で、日本だけが患者を減らしても、世界で患者を減らさないと、結果的には日本の患者も減らないことになります。2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでには結核低まん延国（結核罹患率を人口10万対10以下）の仲間入りをして、世界の皆様をお迎えしましょう！

世界では

世界では、総人口の約3分の1が既に結核に感染しています。2013年には900万人が新たに結核を発病し、150万人が亡くなりました。結核は単一の感染症としてはHIV/エイズに次いで2番目に死亡者数が多い疾患です。多剤耐性結核の発病者は48万人と推計され、結核とHIV/エイズの重複感染とともに問題を深刻化させています。（WHOファクトシートより）
結核のない世界の実現に向けて、世界的な取り組みが進められています。

世界の結核の状況



（出典：WHO Global Tuberculosis Report 2014）

⑥結核予防会の活動

複十字シール運動

運動期間 8/1～12/31

ご存知ですか？複十字シール運動

結核予防会では「結核のない世界」をつくるため、複十字シール運動による募金活動を実施しています。
収益金は、結核予防の普及啓発活動、開発途上国への結核対策支援等に活用しております。

もっと結核について知りたい方は…

◆結核予防会HP
URL http://www.jatahq.org/

◆わかりやすいマンガから専門書まで取り揃えています。(結核予防会出版物各種)
結核予防会　事業部出版調査課
TEL 03-3292-9289
URL http://jatahq.org.scb/shop/shop.cgi
E-mail book@jatahq.org

◆結核で困っている外国人の方がいたら
結核予防会「外国人結核電話相談」
TEL 03-3292-1218・1219
(毎週火曜日10:00～12:00、13:00～15:00)

このパンフレットについてのお問い合わせはこちらまでお願いいたします。
〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-3-12　TEL : 03-3292-9288　FAX : 03-3292-9208
公益財団法人結核予防会 事業部普及広報課　E-mail : fukyu@jatahq.org